

あいな 里山公園情報

～国営明石海峡公園神戸地区だより～



第9回のあいな里山まつりの季節は秋。冬から春にかけての時期に開催する事が多かった里山まつりですが、今回は秋という事で、テーマも「あいなな秋をあげよう」に。

『あじわう』と聞くと味覚を堪能する事が真っ先に思いつく事でしょうが、まつりでは味覚だけでなく視覚、聴覚、触覚、そして嗅覚といった五感全てで秋を味わっていただくとうと企画しています。

具体的には、きのこ観察会や野草植え付け

月に1〜2回の頻度で開催している、あいな里山まつり実行委員会。徐々に開催イメージも固まりつつあります。

体験、炭の窯だしやツリーイング（器具を使った木登り）などの秋を楽しむ企画を予定しています。

やはり一番期待が集まる、「味わう」体験では、今までの屋台スタイルだけではなく、来園者自ら、食材を焼いていただき、味わっていただくといった企画も検討されています。



炭焼きピザ



ツリーイング



栗おこわ

あいなで収穫された野菜を炭火で焼きながら、公園の将来に思いを馳せる。そんな時間を過ごす為に、11月24日は今から予定を空けておいて下さい。

トピックス

- 蕎麦の種まき
- 明石川まつり出展
- 工事現場の進捗情報
- 河川に放流しない下水処理施設
- あいな里山まつり
- あいなで暮らす生きものたち

初秋のあいさつ

暑すぎる夏がようやく終わりを迎え、朝晩は過ごしやすくなっている様に感じています。

昨年、イノシシの襲来にあい、ほとんど収穫することが出来なかったお米。今年は電柵を設置してイノシシの侵入を防いでくれる事を期待しています。

実りの季節を迎える里山ですが、野生生物との共存が年々難しくなると感じています。

製作・発行

国営明石海峡公園事務所 神戸地区現場事務所
〒651-1104 神戸市北区山田町藍那字伝庫14
TEL(078)593-3943 FAX(078)593-3944
kobe@kokueiakashi.go.jp
http://www.kokueiakashi.go.jp

神戸地区より淡路島を望む

ひと休み

少し開けた場所を歩いていると、トンボに出会います。兵庫県はため池が多いため、トンボの種類は多いのですが、ここでは何種類にあえるのでしょうか。



曖昧な…

玉虫色というとても良い意味で使われませんが、タマムシにとっては不本意な事でしょう。ただこの翅の色は、確かに表現が難しいです。



森のトラップ

涼しい森の木陰を気持ちよく歩いていると、顔にべっとり絡みついてくるクモの巣。彼らも必死で巣を張っているのですが、どうも好きにはなれないものです。



ため池の主

暑い日が続いた今年の夏。優雅に泳ぐ亀が羨ましくもありました。ただ、亀は亀で今年の暑さに困っていたかもしれませんけど。



蕎麦の種まき

2007.8.5

日本の最高気温を更新するなど、猛暑が続いた今年の夏。暑さで食が進まず、そうめんや蕎麦が主食だった方も多かったのではないのでしょうか。

蕎麦というと、夏に食べる事が多いと思いますが、収穫時期はというと秋。約3ヶ月ほどで収穫できる蕎麦を撒く時期は、夏真っ盛りの時期



なるのです。この日も、うだるような暑さの中、熱中症に注意しながら種まきの開始です。

夏の暑い時期という事もあり、少人数での実施を覚悟していたのですが、当日行ってみると30名ほどの方が集まってもらいました。既にトラクターで畝(うね)たてはしてあったので、この日の



作業は、最初に土の表面に生えかけた草をこそぎ、畝の上に溝を作ってから種を撒き、土を被せるといった感じ

です。この日は立っているだけでも汗が吹き出るような蒸し暑さ。暑さ対策と水分補給が何より大切でした。

発芽や生育の早い蕎麦。このあいな里山情報

が皆さんの手元に届

近隣への公園事業紹介

明石川まつり出展

2007.9.1

園内を流れている木見川。その水は、明石川へと注がれます。その縁もあり、押部谷で開催される明石川まつりに今年も出展させていただきました。

分。西区押部谷にある住吉神社がまつりの会場になっており、神社の直ぐ横には明石川が流れています。地元の幼稚園の合唱や中学生のプラスチックバンド、消防団の放水などの他に、うなぎのつか



く頃には、小さくて綺麗な白い花が一面に咲いている頃かもしれません。



み取りなどもあり、多くの人手でにぎわっていました。公園事務所では、公園整備の取り組みや藍那の自然をアピールしようとして、昆虫やへび、野草などを展示して



子供たちに人気があったのは、やはりカブトムシ。公園が開園する頃には多くのカブトムシが生息する環境になるようにしていきたいものです。



死んでいるスズメバチやカマムシも、標本にして展示したのですが、死んでいてもスズメバチは少し怖い様子でした。少しづつですが公園の存在や方向性を、知っていただけるいい機会になったのではないのでしょうか。

工事現場の進捗情報

工事中につき迷惑をおかけしています



猛暑が続いた今年の夏ですが、工事はお盆期間を除いて、着々と進んでおります。

木見川沿いに計画されている耕作楽園地区の西端部分、調整池としての役割も担うこの場所も、草木が茂り始め、周囲の景観に溶け込んできたように思います。



耕作楽園地区 調整池

市民活動の拠点として計画されているプログラム準備棟は、倉庫棟から建築を始めており、土台作りが行われています。



長屋門周辺



あいな亭 建築工事



プログラム準備棟 建築工事

河川に放流しない下水処理施設



神戸地区の整備の重点項目のひとつに、『未来の里山づくりに向けて、新しい技術や仕組みを取り込む』というのがあります。そこで、園内で発生した汚水は、園内で処理し河川に流さないように、蒸散作用を応用した技術による下水処理施設を採用しています。

園内で発生した汚水は消化槽に集められ、ゴミと水とに分類します。綺麗になった水は、土壌処理へと流れ、水を蒸発させて処理をします。水が多く発生した場合には貯留層にいったん溜められますが、蒸発した後再び土壌処理に戻し、蒸散します。

このように神戸地区では、新しい環境技術も積極的に取り入れています。

下水処理施設イメージ図

